

# く め 久米地区

面積：9.83 km<sup>2</sup>  
人口：30,497 人（高齢化率 23.2%）  
世帯数：13,960 世帯

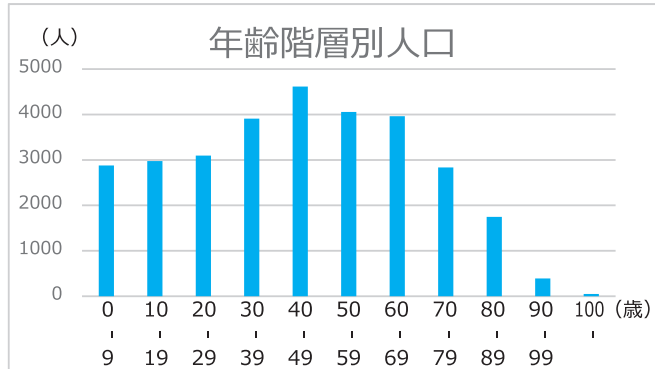


## 【地区の特色】

久米地区は、松山市の東部方面に位置し、国道 11 号線の整備により交通の便がよくなったことから、人口が急増しており、松山市のベッドタウンとしての性格が一層濃くなってきている。また、地下にボーリングを打ちこみ温泉の開発に成功して東道後温泉郷としても知られている。



五郎兵谷古墳群の埴輪



## 【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域によっては人と人のつながりが密なところもある</li> <li>・婦人団体連絡協議会の活動が活発 ・行事などへの参加者が多い</li> <li>・里山公園があり世代を超えて活動している ・中学生が行事に積極的に参加</li> <li>・城南高校の生徒が地域の活動に関わり交流がある ・子どもが多い</li> <li>・公民館、自主防災、高齢クラブ、サロンの活動が活発 ・伊予鉄電車が通っている</li> <li>・生活関連施設、病院、施設が多い ・ふれあい食堂が活発 ・通学合宿 ・治安がよい</li> <li>・地区内 4 校の小学 4 年生を対象とした里山キャンプがある（220 名参加）</li> </ul>
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化が進んでいる ・各団体の情報の共有ができていない</li> <li>・商店街の衰退 ・防災の意識が低い</li> <li>・住居地によっては交通手段がなく駅までが遠い</li> <li>・町内会への加入減少 ・オートロックマンションの増加で声かけが困難</li> <li>・公園はあるがボール遊びができない ・子どもが外で遊んでいない</li> <li>・地域活動に参加する人が限られている</li> <li>・社会資源について知ってもらう機会がない</li> </ul>
福祉課題 地域が抱える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者の把握が難しく、支援が行き届かない</li> <li>・認知症の見守りが難しい</li> <li>・個人情報保護のため情報が把握できない</li> <li>・各団体との連携⇒防災面での情報共有不足</li> <li>・住居地によって生活の不便がある（交通、買い物等）</li> <li>・マンションの増加による要援護者の安否確認</li> <li>・社会資源の啓発がうまくできていない</li> </ul>

## 久米地区社会福祉協議会

<拠点> 松山市鷹子町 740 鷹子老人福祉センター内 2F TEL: 089-975-2882

<b>構成団体</b>	地区民協・町内会・自治会・母子福祉会・婦人団体連絡協議会・PTA 中学校・小学校・消防分団・交通安全協会	
<b>主な取り組み</b>	<b>活動内容</b>	
福祉だよりの発行	年2回作成し、地域福祉に関する情報を発信するため町内会と連携し、広報委員を通じて全戸配布しています。	
独居高齢者・高齢クラブ 会員との交流会	登録している独居高齢者と高齢クラブ連合会会員を対象に、演芸発表やカラオケなどを楽しみながらの交流会等を毎年5月と10月に開催しています。	
災害時等MAP作製	要支援者名簿を基に災害時等に活用できるよう、個人情報の適切な取り扱いの上、住宅地図への転記作業を行っています。	

### 独居高齢者暑中・寒中見舞い（8月・1月頃）

登録している独居高齢者に対する毎月の見守りの他、お盆と年明け時期に民生委員・児童委員が自宅訪問しています。デイサービス利用などお留守の時は在宅時間を電話等で確認し改めて伺い、直接顔を見てお話す事でコミュニケーションが取れ、暑さ寒さの時期の安否確認になります。“ありがとう”と言われるとお互いに嬉しい気持ちになり、活動の継続に繋がっています。



### <地区社協が目指すもの>

鷹子老人福祉センター内に事務所を置き、久米地区全体の福祉に関する相談窓口になっています。2017年度には町ごとに福祉施設の一覧表を掲載した福祉マップを作成して、全戸配布により福祉のしくみを紹介しました。2018年度には災害時に一人では避難の困難な高齢者や障がい者の方々がスムーズに避難できるように、要支援者への連絡方法や避難場所及び避難手段についての確認作業を進めています。また、子どもたちの登下校時の見守りも積極的に行い、小中学校との情報共有に努め、老若男女誰もが安心・安全に暮らしていける地域づくりの実現を目指しています。

<b>地区の状況</b>	■地区民協 民生委員 主任児童委員	39名 2名	■町内会・自治会・区長会等	12団体
			■高齢クラブ	10クラブ
			■子ども会	11団体
	■まち協の設立	平成26年度	■自主防災組織	11組織

地区社協が中心となって独居高齢者や子ども達の登下校見守りなどを実施することで、全世代が住みやすい街づくりに住民とともに取り組んでいます。災害の比較的少ない地区ですが、過去に小野川の氾濫や地震などを経験していることから、防災に対する意識が高く、MAP作りや防災用品を備えるなど防災への取り組みを熱心に行っています。高齢化が進むほかマンションの増加による住民間交流の難しさはありますが、地区社協で取り組んでいる交流会や暑中寒中見舞いなどの地域内の人間関係を維持する重要な活動は継続されており、今後は多様な住民を巻き込んだ活動となっていくことが期待できる地区だといえるでしょう。

ココがポイント



うけな

# 浮穴地区

面積：5.9 km<sup>2</sup>

人口：9,532人（高齢化率 27.1%）

世帯数：4,225世帯

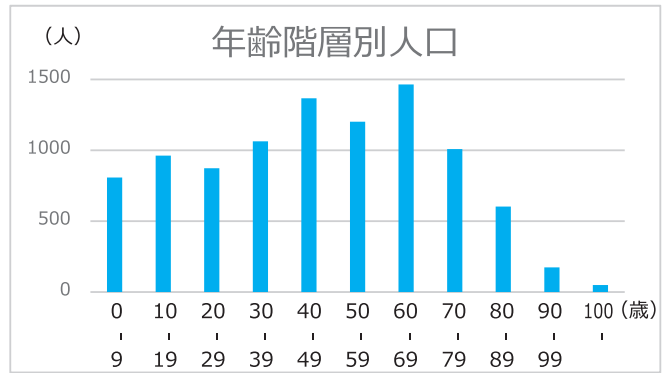


## 【地区の特色】

浮穴地区は、松山市の南部にあり東西約 6.7km、南北は広いところで 1.3km と細長く、重信川と内川にはさまれた地形である。地区には伏流水と呼ばれる地下水の流水があり、全国名水百選に選ばれた杖ノ淵泉は親水公園として水辺に親しめるように整備され、年間を通して大勢の人々が訪れている。



杖ノ淵公園



## 【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事が多く、子どもが積極的に参加しており近所の繋がりがあ</li> <li>・春祭りや秋祭りを、(井門・森松・南高井) 各地区で行っている</li> <li>・重信川の河川敷でスポーツや花壇、ウォーキング、サイクリングなどが楽しめる</li> <li>・サロン活動に参加する高齢者が元気</li> <li>・水が豊富で松山市の上水道の水源の一つがある</li> <li>・交通の要衝で高速道路、松山インターがある</li> </ul>
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化が進んでいる 若年層の流出が多い</li> <li>・地区によっては公共交通機関での移動手段が少ない</li> <li>・行事は多いが参加者が少ない (若い世代、男性)</li> <li>・子ども減少のため、行事が出来なくなっている</li> <li>・地域によっては高齢者が歩いて行ける距離にスーパーがない</li> <li>・水害の可能性 (内水氾濫を含む) が高いが、水害時に避難できる高台が無い</li> </ul>
福祉課題 地域が抱える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化 (地区の世話人等の高齢化、後継者問題)</li> <li>・公共施設の老朽化、高齢者が公民館の2階に上がれない (エレベーター希望)</li> <li>・老々介護、老人性うつ病の増加、高齢者の独居世帯の増加⇒孤独死の不安</li> <li>・公共交通機関が少ない、ループバスを充実させて欲しい</li> <li>・核家族化している、子どもが外で遊ばなくなっている</li> <li>・空き家問題⇒治安が悪くなる</li> <li>・洪水時の要支援者等への対策は急務</li> </ul>

## 浮穴地区社会福祉協議会

<b>構成団体</b>	総代・町内会・公民館・共同募金会・地区民協・自治会・交通安全協会 自主防災組織連合会	
<b>主な取り組み</b>	<b>活動内容</b>	
福祉だよりの発行	年1回2月発行・大口共同募金の折込広告発行	
サロン交流会の開催	毎年3月公民館の文化祭で作品の展示・演芸の発表・お茶の接待	
講座の開催	年1回 一般地区住民対象（地域の仲間作りや福祉に関する勉強会）	

### 地区社協役員全員集合！

地区社協役員が定期的に集まり、疑問に思うことや地域に関する話題などから課題を抽出し情報を共有している。その中から「地域のみんなが参加できる支え合い」を模索しています。



### <地区社協が目指すもの>

各家庭での自立を願い、先ず家族の支え合いが優先、次に地域で支え合い、高齢化の実情に合わせ、みんなで見守り合い、人の気配を感じながら安心できる住処を維持させるために、会話を楽しむ機会をつくり、地域での交流を多くしていくことを目指します。

<b>地区の状況</b>	■地区民協 民生委員 主任児童委員	13名 2名	■町内会・自治会・区長会等	5団体
	■まち協の設立	—	■高齢クラブ ■子ども会 ■自主防災組織	5クラブ 4団体 5組織

本地区では高齢化が進み買い物困難者の増加も課題となっていますが、地域貢献活動に携わる住民の意識が高くサロン活動を積極的に参加・運営しているほか、地区社協役員の定期会ではより住みやすい地域づくりのための活発な意見交換が行われています。また、自主的に重信川河川敷の清掃・花壇整備を行う人がいるなど、住民一人ひとりが主体的に取り組むことで地域を支えています。この貴重な人的資源を大切にしながら、地区の特徴でもある多くの行事に子どもや若い世代が参加しやすくなるように家族、近隣、地域の三層構造で支え合う体制づくりが期待されています。

ココが  
ポイント



# おの 小野地区

面積：26.5km<sup>2</sup>  
人口：17,498人（高齢化率 29.9%）  
世帯数：7,801世帯



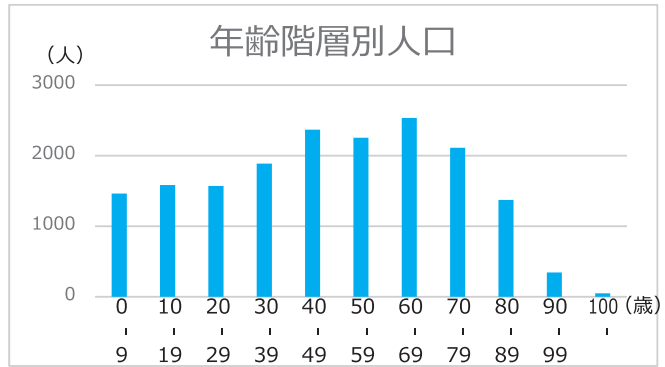
## 【地区の特色】

松山市の最東部に位置し、小野町、北梅本町、南梅本町、平井町、水泥町の5町から構成され、伊予鉄道横河原線沿線という好条件と病院や商業施設が備わった地域でありながら都会らしくもなく、そして程よい田園風景の残る地域で、近年急激に人口が増加している。

1公民館、1小学校、1中学校の地域性から住民同士の連帯感が強く、義理と人情がまだまだ残っている地域である。



小野地区の全景



## 【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいサロン小野（月～金の毎日型）</li> <li>・公民館や小野支所などが社協に協力的</li> <li>・サロン農園があり、近所の人協力的</li> <li>・サロンに各団体が集まり人材確保が容易</li> <li>・自然豊か</li> <li>・包括支援センターによる出張相談</li> <li>・小学校からそのままのメンバー（生徒）で中学校に上がる</li> <li>・地域全体で子どもの見守り、健全育成</li> <li>・子どもの挨拶が立派</li> <li>・犯罪が少ない</li> <li>・災害が少ない</li> <li>・地域の団結力</li> <li>・スポーツに熱心</li> <li>・地域役員の連携が密</li> </ul>
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン活動で若い人が少ない（協力会員も高齢化している）</li> <li>・小野サロンの立地が地区の中心ではない</li> <li>・小野サロンの施設の劣化</li> <li>・道路、通学路が狭い</li> <li>・高齢化率約 30%</li> <li>・高齢者の交通不便</li> <li>・企業が少ない</li> <li>・飲食店が少ない</li> <li>・農業に従事する人が少ない</li> <li>・バスの廃線（小野谷）</li> <li>・災害の不安（山地部）</li> <li>・スポーツ施設が少ない</li> <li>・行事のお世話人さんなど後継者不足</li> </ul>
地域が抱える福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化率が年々高くなっている</li> <li>・独居高齢者（特に男性高齢者）増加傾向</li> <li>・若い人、男性の福祉に対する関心が薄い</li> <li>・認知症の人が増えている</li> <li>・自力で移動できない人の増加</li> <li>・若い女性は勤めに出ているため活動に参加できない</li> <li>・入院できる病院が少ない</li> <li>・健康のため高齢者によるボランティア活動への参加促進</li> <li>・避難準備情報が出てても行動しない人が多い</li> <li>・コミュニティバスの配備希望</li> </ul>

## 小野地区社会福祉協議会

心響きあう♥与力の里

<拠点> 松山市水産町 972-1

TEL / FAX : 089-976-1200

<b>構成団体</b>	地区民協・公民館・分館・PTA・中学校・小学校・学識経験者 身体障がい者協会・平井商店会・社会福祉法人	
<b>主な取り組み</b>	<b>活動内容</b>	
福祉だよりの発行	年に2回 12,000部を作成・全戸配布し、地域活動のPRや福祉に関する情報を発信しています。	
福祉のつどい	毎年4月に福祉施設と合同でミニ運動会を開催します。会場の小学校の体育館には約300人の地域住民(サロン参加者・幼稚園児)が集います。	
福祉講座の開催	年1回、高齢者の身体や認知症など、生活に関する身近なテーマでの開催を目標として実施しています。	

### ふれあいサロン小野 (月～金の週5回)

平井商店街の一角に地区社協の拠点でもある毎日型のふれあいサロン小野があります。常時、協力会員がおり、プロから講習を受けたコーヒーの提供や月曜日限定の手作りカレーの販売などもあり、地域住民が気軽に集える場となっています。介護予防体操や手芸、囲碁や将棋も楽しめます。



### <地区社協が目指すもの>

小野地区では地域の住民が気軽に集える憩いの場を作ることが目的とし、平成16年に平井商店街の空き店舗を活用して地区社協の事務所とサロンを開設、平日(月～金)週5日運営を行っています。

「心響きあう♥与力の里」を基本理念に、地域の各種団体や施設等と連携しながら、地域住民が安心して住みよい、住んで良かったと感じる地域を目指し、今後の高齢社会に向け若い世代の活動拡大を目指します。

<b>地区の状況</b>	■地区民協 民生委員 主任児童委員	24名 2名	■町内会・自治会・区長会等	21団体
	■まち協の設立	—	■高齢クラブ ■子ども会 ■自主防災組織	5クラブ 15団体 17組織

毎日型のふれあいサロンは全国的にも模範的なサロンとなっています。サロンにおいて定期的な食事提供や参加者の趣味活動など多様な活動が継続しているのは、地区社協や協力会員の連携や意欲の高さによるものです。毎月1回行われる管理運営委員会では地区社協内の各部会の報告や情報共有、意見交換などが行われるなど、常に活動がブラッシュアップされています。他機関の役員を兼ねる参加者も多いことから、この会が他団体との連携に繋がるという特徴もあります。サロンをはじめ地域貢献活動は担い手の世代交代が全国的な課題となっています。本地区のこれからの取り組みによって世代交代の新しいモデルが生まれ、全国へ発信される日が来るかもしれません。

ココが  
ポイント



いし い ひがし

# 石井東地区

面積：4.27 km<sup>2</sup>

人口：30,026人（高齢化率 24.1%）

世帯数：13,436世帯

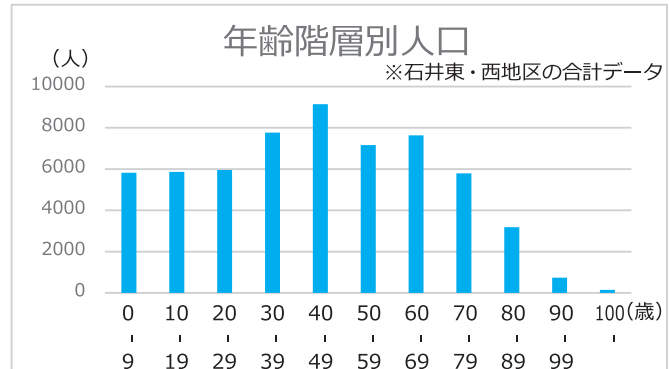


## 【地区の特色】

石井東地区は、市街地に近く天山・東山などの緑や温泉などの自然環境にも恵まれ、星岡古戦場・縦渕城跡など多くの史跡、文化財が残っており、肥沃広大な耕地をもとに穀倉地帯として発展してきた。また、毎年旧暦の正月七・八・九日の三日間に渡って行われる椿祭りでは、伊予豆比古命神社に多数の参拝客らが訪れる。近年では急速に市街化が進み、人口3万人を数え、市内で最も発展を遂げている。



毎年賑わう椿まつり



## 【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口が多い（3万人）</li> <li>・協力会員約400名、民生委員・児童委員の連携が取れ活動が活発</li> <li>・社会資源として、すべての面で恵まれている（介護事業所、南警察署、南消防署等）</li> <li>・石井ボランティアや住民の活動が活発である ・高齢クラブが各町にある</li> <li>・生活関連産業もたくさんある</li> <li>・交通の便がよい ・松山インターチェンジがある ・稼働年齢層が多い</li> <li>・サロン18ヶ所、毎日型の集いの場1ヶ所、子育て支援センター2ヶ所で活動が盛ん</li> </ul>
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に避難する場所が少ない（3万人が小学校2校、中学校1校のみ）</li> <li>・川幅が狭い為、大雨時、氾濫の恐れがある</li> <li>・人口に対して公園、スポーツ施設が少ない</li> <li>・人口に対して支所、公民館がせまい ・支所、公民館への交通手段が不便</li> <li>・将来的にヘルパーさんが関わる時間が短いと困る高齢者が増えるのではないかと</li> <li>・交通渋滞が起きやすい ・道が細く溝が多い箇所がある</li> <li>・集会所の老朽化問題</li> </ul>
地域が抱える福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口が30,000人を超えて、高齢者が多い</li> <li>・労働人口が多いので、支える側の絶対数が少ない</li> <li>・人口に対して公民館、支所、その駐車場が少ない</li> <li>・人口に対して避難場所が少ない</li> <li>・交通の不便（バスの路線見直し、ループバスの整備）</li> <li>・川幅が狭い為大雨時、氾濫の恐れがある</li> <li>・高速道路陸橋下の空き地の活用</li> </ul>

## 石井東地区社会福祉協議会

安心を笑顔で支える「人つなぎ夢つむぎ」

&lt;拠点&gt; 松山市居相1丁目8-26 石井支所2F

TEL / FAX : 089-904-4874

<b>構成団体</b>		地区民協・公民館・町内会・総代会・有識者・高齢クラブ連合会
<b>主な取り組み</b>		<b>活動内容</b>
福祉だよりの発行		「夢つむぎ」として年3回12,000部を作成し、全戸配布。地域福祉に関する情報を発信しています。
地域の集いの場	IMAカフェ	・月に1回日曜日開催、地域で採れた野菜やコーヒーなどの提供
	マンボ	・誰もが気軽に集える場として月～金曜毎日開放している
	星ぐるま	・独り暮らしの高齢者へのお弁当作成及び配布による見守り
避難行動要支援者名簿作成		災害時等の避難誘導の際に活用出来るよう、世帯別状況を色分けし、毎年更新して名簿からMAPを作成します。

## 福祉交流会（10月）

地域の独居高齢者と障がいのある「おふくの会」の方約200名との交流会を開いています。手作りのちらし寿司を用意して、民生委員・児童委員、みまもり員による工夫を凝らした演芸を披露しています。また、参加者全員に配布される絵手紙を毎年楽しみに集めていらっしゃる方もいます。



## &lt;地区社協が目指すもの&gt;

安心を笑顔で支える「人つなぎ、夢つむぎ」のコンセプトのもと、地域住民が主体となって互いに支え合う小地域福祉活動の推進に努めます。地区内には65才以上の高齢者の内、約4割3,000人（障がいのある人を含む）の災害時要支援者がおり、今後増え続ける要支援者を支える、支え合える「住民力」「地域力」の育成をめざします。超高齢社会の中で共生社会実現のためには向こう三軒両隣の顔の見える関係づくりが必要であり、一人ひとりが支えてこそ意義がある事を啓発すると共に地域に密着した福祉活動を推進していきます。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	43名 3名	■町内会・自治会・区長会等	11団体
	■まち協の設立	平成23年度	■高齢クラブ	17クラブ
			■子ども会	11団体
			■自主防災組織	19組織

人口の多さは地区社協協会の多さに必ずしも比例するものではありませんが、同地区では多くの会員がいることや、実践面においても福祉交流会などの事業が活発に行なわれていることは大きな特徴だといえるでしょう。地区社協の策定する「地域福祉活動計画」においても、地域住民が主体となった「夢くらぶ（委員会）」を組織し、基本理念（コンセプト）を明確にしてPDCAサイクルすべてに関与しています。丁寧な話し合い、実施、振り返りを行うなど地域福祉推進の基礎組織としての役割を果たしています。この計画性や組織力をいかして、市街化にともなう人口増加によって生じる課題に対して、独自の視点で解消していくことが期待されています。

ココがポイント





いし い にし

## 石井西地区

面積：4.54 km<sup>2</sup>

人口：29,067人（高齢化率 23.3%）

世帯数：13,793世帯

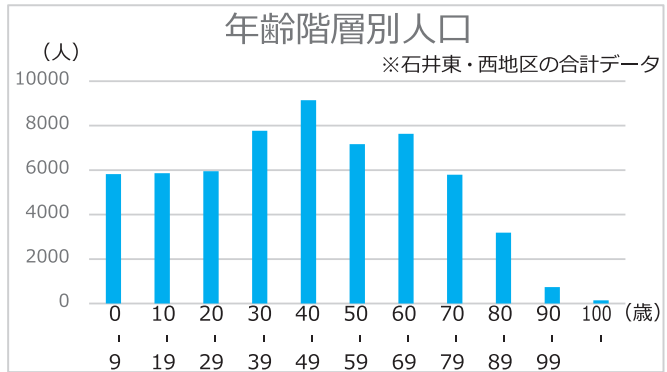


## 【地区の特色】

石井西地区は、松山市の南部に位置し、北部を西に流れる石手川・小野川、南部を西に流れる重信川・内川に囲まれた肥沃な穀倉地帯として発展してきた。近年、急速に市街化が進行したのは地理的・社会生活上の諸条件にも恵まれているためである。特に、地区の中心部に市道千舟古川線（古川はなみずき通り）や市道北久米和泉線が整備され、市民の散歩道として利用されるほか、松山市保健センター南部分室・南部児童センターが開所され、多くの市民に利用されている。



はなみずき通り



## 【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療、教育、買い物等、生活環境は整っていて便利で人気のエリアである</li> <li>・閑静な住宅街が多い ・高齢者の社会参加が活発である</li> <li>・道路網が整備されており、市内外移動は便利である</li> <li>・子育てしやすい町づくりに取り組んでいる</li> <li>・高齢者に優しい取り組みをしている</li> <li>・近隣高校の生徒が南部児童センターで地域の子どもたちと交流している</li> </ul>
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共の交通機関がバスしかない為、車の移動が多く道路の渋滞がはげしい</li> <li>・新しい住宅を建てる土地が少ないので、若い人が入ってこない町がある一方、マンションや新興住宅が増え、若い人が増えている町もある</li> <li>・人と人との関わりが希薄である</li> <li>・観光資源が少ない ・空き家が増えてきている</li> <li>・高齢化が進んでいるが対策が追いついていない</li> </ul>
地域が抱える福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣住民の人間関係が希薄になり、世代間の交流も少なくなっている</li> <li>・子どもの減少、遊び場が少なくなっている ・避難所が少ない</li> <li>・町内会などが実施する地域行事への若い世代の参加が少なく、町内への関心も遠のいている</li> <li>・町内の担い手（町内の役員や民生委員など）が育たない</li> <li>・個人情報保護が壁になり、障がい者、ひとり親家庭など手助けがしにくい</li> <li>・町内放送、防災無線が聞こえにくい ・防災対策が進んでいない</li> </ul>

## 石井西地区社会福祉協議会

石井西 やすらぎのまち 愛の町

&lt;拠点&gt; 松山市居相 1 丁目 8-26 石井支所 2 F TEL : 089-956-0248 / FAX : 089-958-9962

<b>構成団体</b>	地区民協・公民館・町内会・まちづくり協議会	
<b>主な取り組み</b>	<b>活動内容</b>	
各種講座の開催と周知	認知症サポーター養成講座や脳トレサロンの実施、福祉講座を開催しています。年3回 36,000 部発行の福祉だよりにて周知・啓発・報告をし理解者の拡大に努めています。	
災害に備えた取り組み	避難行動要支援者名簿の作成と更新及び「無事ですフラッグ」を利用した安否確認を防災訓練時に実施しています。	
高齢者の社会参加や交流の促進	ふれあい・いきいきサロン、健康マージャン脳トレ教室、福祉交流会の開催をしています。	

## 認知症キッズサポーター養成講座+(プラス)

各町で行っている認知症サポーター養成講座を新たに 30 年度より小学 4 年生を対象に開催しました。講義や DVD を通して認知症について学んだ後、地域の方が認知症高齢者に扮し、実際に声かけ訓練を行います。声をかけるタイミングなどを考えながら子どもたちの総合的な学習となります。



## &lt;地区社協が目指すもの&gt;

石井西地区では近年、南環状線・はなみずき通りなど道路網が整備され、市街化が進み町の雰囲気は急速に変わってきました。このような地区の特性を考慮し、「石井西 やすらぎのまち 愛の町」を基本理念として、人と人のつながりの再構築に取り組みます。また、松山市社協の企画・提案を取り入れつつ、まちづくり協議会や町内会・その他関係機関・団体とも連携・協働して各町の実情に応じた柔軟な福祉活動を計画・企画・実施します。そして、住民誰もが心豊かに安心して暮らし続けることができる地域づくりを目指します。

<b>地区の状況</b>	■地区民協 民生委員 主任児童委員	44 名 3 名	■町内会・自治会・区長会等	11 団体
	■まち協の設立	平成 23 年度	■高齢クラブ	17 クラブ
			■子ども会	11 団体
			■自主防災組織	19 組織

本地区では小学生を対象にした認知症キッズサポーターの養成の際に、地域の方が高齢者役を担ったワークも実施しています。本養成講座は地域内の世代間交流にもつながる貴重な生涯学習の場だといえます。このように、地区社協ではより良い事業運営を図るために、住民座談会の意見や事業参加者からのアンケートをもとに事業の効果や必要性の可視化を導入し、検証し深めて改善をするなど、仕組みを有効に活かしながら事業を展開しています。新興住宅の増加による人間関係の希薄化の課題はありますが、社会参加が活発である高齢者の力も借りながら、地域の変化に合わせた新しい形を見せていただきたくなる地区です。

ココがポイント



# 久谷地区

面積：44.65 km<sup>2</sup>  
人口：10,078人（高齢化率 35.7%）  
世帯数：4,795世帯

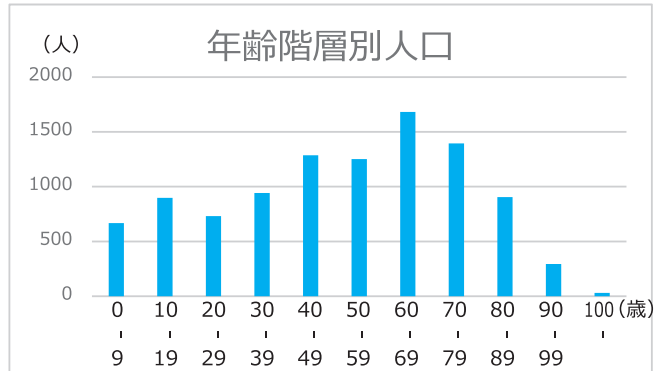


## 【地区の特色】

久谷地区は、松山市の南部に位置し、緑豊かな田園地帯である。文化財などの史跡伝説の町でもあり、また、昭和38年に決議された文教宣言に基づき、生涯教育の推進をモットーとしている。伝統文化の継承や仲間づくり、青少年の健全育成を図り、また、近隣愛を高めながらふるさとの再発見活動を展開している。



三坂峠から見る久谷



## 【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近所の人協力してくれる</li> <li>・おせったいの文化がある</li> <li>・昔からの集落なので隣近所3代に渡って顔見知り</li> <li>・元気な高齢者が多い</li> <li>・町内会のシステムが確立している</li> <li>・自主防災の意識が強い</li> <li>・地区の若い人が活動をしている</li> </ul>
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家と家が遠い</li> <li>・交通機関がなく通勤通学に不便</li> <li>・市街化調整区域で新しい住宅が建設できない</li> <li>・空き家が多い ・高齢者を雇う事業所がない</li> <li>・80歳代以降の年金額が少ない（農業従事のため）</li> <li>・少子高齢化が進んでいる</li> <li>・過疎と高齢化に伴い、行事等の共同作業が困難になりつつある</li> </ul>
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者、独居高齢者が多く、見守り等が必要</li> <li>・空き家が多い</li> <li>・子どもが減っていて伝統文化の継承が難しい</li> <li>・高齢化により、地区の行事での共同作業が困難になりつつある</li> <li>・買い物、通院の交通が不便</li> </ul>

## 久谷地区社会福祉協議会

ふれあい、助け合い、おもてなしの里「くたに」

構成団体	地区民協・総代会・公民館・自治会・高齢クラブ連合会・女性連絡協議会 協力会・PTA・中学校・小学校・交通安全協会・福祉施設・支所	
主な取り組み	活動内容	
福祉だよりの発行	年2回7,000部を作成し、地域福祉に関する情報を発信するため回覧にて全戸配布しています。	
交流会の開催	年齢の違いやハンデのある子どもから高齢者までがお互いを理解し一緒に楽しめる季節ごとのイベントを年に10回開催しています。	
福祉講座の開催	年に4回開催しており、介護保険や服薬など高齢者の暮らしに必要な情報をテーマ設定し、専門分野の方を講師にお迎えして開催しています。	

## 年賀施設訪問（1月頃）

毎年約50箱のミカン箱を久谷地区にある高齢・障がい者施設へお年賀として贈呈しています。お届けする地区社協の担当者も顔を見て直接お渡しすることで、受け取っていただく方の笑顔を見ることができ、お互いが毎年楽しみにしている行事となっています。



## &lt;地区社協が目指すもの&gt;

少子高齢化が進み、現在、高齢化率は35%を超えています。今後高齢者のみの世帯が増えてくる事が懸念されるこの地域では「ふれあい、助け合い、おもてなしの里「くたに」」を基本理念とし、地域で誰もがいつまでも安心して心豊かに暮らせる街づくりを目指して、今まで以上に地域内交流を盛んにし、伝統文化等の継承と仲間づくり、青少年健全育成と三世代の交流を深め、近隣愛と地域愛のある活動を進めていきます。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	18名 2名	■町内会・自治会・区長会等	14団体
	■まち協の設立	平成28年度	■高齢クラブ	14クラブ
			■子ども会	20団体
			■自主防災組織	29組織

お遍路さんへのお接待の文化が残る地域であるとともに、お互いの孫の顔までわかる向こう三軒両隣での助け合いや共同作業の風習が強く残っている地区です。また、地区内に福祉施設等が多く、地区社協としても「年賀施設訪問」など定期的な交流を図っています。このお接待をベースとする施設訪問や近隣のつながり、若い人の地区活動への参加などにみられる“つながりの強さ”は他の自治体では簡単にまねのできない地区の大きな財産だといえます。世代間などの交流会が年に10回も開催できることはその裏方である地区社協のつながりの強さを表しているといえます。この地区に子どもを育ててもらった親世代が次の地区社協を担うなど、世代間のプラスの連鎖が期待できます。

